



学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 庄司 伸哉

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

離任式が行われました

本日はS、N両部門で離任式が行われました。鹿本学園が開校して5年。肢知併置校を作り上げ、その良さを全国に発信してきた教職員が、児童・生徒、保護者、同僚の前で近況報告をしてくださいました。異動した教職員からは鹿本学園での勤務経験を生かして着任した学校でも実力を発揮し、学校の教育内容の改善・充実に貢献している様子を聞くことができました。これからも鹿本学園の優れたノウハウを都内の多くの学校で活用してもらうことを願っています。今年度開校した臨海青海特別支援学校や、来年度、鹿本学園と同じく、城北特別支援学校（肢体、小・中・高）と南花畑特別支援学校（知的、小・中）を母体校として、肢知2部門、5学部で開校する南花畑学園特別支援学校（仮称）の開校も全力で支援してまいります。

近隣自治会や近隣小中学校との連携

3月17日日曜日、本一色自治会主催の本一色さくら公園祭りに参加してきました。本一色小学校の金管バンド演奏、上一色南小学校のソーラン節の披露など地域の小学生の健全育成と防災公園の機能を広く知ってもらうお祭りです。昨年度から本校の一泊二日宿泊防災訓練にも、本一色自治会婦人部の皆さんに参加していただき、福祉避難所である本校の防災対策を視察していただきました。また、地域の小・中・高との交流教育連絡会にも本一色自治会長の深江様に参加していただき、地域の子供たちの健全育成や障害者理解を推進しております。さらに町内にある特別養護老人ホームを中学部の生徒が訪問し、詩の朗読や唱歌の合唱、サンバのダンス披露などで社会貢献活動を行っております。

また毎月、鹿本地区の10校の小学校の校長が集まる地区校長会にも参加させていただき、近隣の生活

指導上や健全育成上の課題等について情報を共有しております。今年度は本一色小学校の学校公開の時に特別支援教育と鹿本学園についてお話をさせていただく機会も設けられました。

本校は今年度24台のスクールバスと2台の医療的ケア専用通学車両を運行しており、登校、1便、2便のバスの出入りで1日6回、また、放課後等デイサービスの送迎車両の出入りも含めて、地元の住民の方の通行に関して、大きな負担をかけております。学校近隣の住民や企業の皆様には本校の教育に関しての御理解をいただくとともに、本校に対する御協力への感謝を常に表していくことが大切です。今年度もPTAと共に近隣との連携強化に努め、更に一歩進めて近隣地域への貢献活動を行い、地域に愛される学校、地域の共生社会を実現する学校へ進化していきたいと考えております。

NHKハート展に本校の児童作品が選ばれました

NHKハート展にS小5の児童の詩が選ばれました。全国から寄せられた3205編から選ばれた50編中の1編です。題名は「プール」プールの中で歩いた感動が伝わる作品です。ハート展は4月25日木曜日から5月5日日曜日まで東急百貨店渋谷本店で開催されます。詩の思いを表現したアート作品と共にぜひ御鑑賞いただきたいと存じます。

学校評価の御意見を反映させました

学校評価で寄せられた御意見を受けて、2点を改善しました。第1は保護者専用の駐輪スペースです。正面玄関わきのスロープ下に確保してあります。第2はS棟とN棟の2階をつなぐ「虹の橋」にネットを張りましたが、隙間部分があり心配する御意見がありました。そこで隙間部分にネットを追加して、改善を図りました。 鹿本学園校長 庄司 伸哉

～副校長より～

「伝統をもとに、さらに前に向かって」

副校長 小滝 義浩 (S部門 小学部・中学部担当)

今年度、4月に副校長として着任し、肢体不自由教育部門の小学部と中学部を担当します。なお、この3月までは墨東特別支援学校において肢体不自由教育部門と病弱教育部門の両部門を担当し、以前、担任としても肢体不自由、知的障害、病弱教育を担当していました。

本校は開校して6年目を迎えますが、前身である江戸川特別支援学校、小岩特別支援学校時代から数々の実績を積み上げてきている学校です。より良い授業に向けての改善、進路も含めたキャリア教育の充実、来年度にオリンピック・パラリンピックの開催を控えての事業等、多くのことに取り組んでいきます。ただし、そのためには地域や関係機関・PTA等との連携も必要です。今までの伝統を絶やすことなく、さらに前進できるよう励んでまいりたいと思います。どうぞ、今後とも皆様方の御支援・御協力等、よろしくお願いいたします。

「地域に根差し、未来につなげる—共につくる鹿本学園のレガシー—」

副校長 阿部 智子 (S部門 高等部 N部門 中学部担当)

今年度、肢体不自由教育部門の高等部、知的障害教育部門の中学部を担当いたします。児童・生徒数はS部門157名、N部門285名と増え、計442名。学級数は100学級となり、東京都で一番大きな学校となりました。両部門担当副校長として、卒業後に向けての進路指導、キャリア教育の充実を一層進めてまいります。鹿本学園は今年度6年目を迎え、「江戸川区にある鹿本学園」の名前も定着し「向学虹輝」の精神は全国区となってきました。地域に育てられ、地域に戻っていく流れの中で本校の校風を生かした地域連携に力を尽くしてまいります。今年度開校した臨海青海特別支援学校への支援、N部門の卒業生を送り出す白鷺特別支援学校、江東特別支援学校をはじめ近隣の小中学校と連携しながら力強く教育実践をつなげていきます。昨年度は、交流教育、防災教育等、地域との温かく深いつながりを感じた1年でした。PTA活動の盛んな本校の保護者の皆様や、地域の皆様に支えられながら「鹿本学園のレガシーづくり（伝統・継承・発展）」に向けて併置型学園として魅力ある教育活動を進めてまいりますので御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

「本校の研究テーマから、学校生活の充実を目指して」

副校長 和田 努 (N部門 小学部担当)

今年度から副校長として着任して参りました和田努です。知的障害教育部門の小学部を担当いたします。

本校の研究テーマを拝見する中で、以前、自分が行ってきた教育を思い返しました。そこでは、将来、社会で生活するにあたって、必要な力は何か、そのために今どのような力を身に付けさせることが必要かを考え、目標を立ててきました。また、授業形態も受け身から、積極的に自分から取り組む学習を見直していました。

本校の教育内容も、社会参加・自立に向けて生活する力や自ら学ぶ意欲を育てることを大きな目標の一つとしています。行事や学校生活の中には、それぞれねらいがあり、個々に合わせた目標があります。どのような力を付けさせることが大切か、またそのためにどのような授業を展開していくかをしっかりと、本校の教職員と意見交換し、充実した教育を創造していきたいと考えております。副校長として、そのような学習環境が整うよう、また児童・生徒が伸び伸びと楽しく学校生活を過ごしながら、それぞれの力を伸ばしていけるよう取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

～経営企画室職員紹介～

〈事務〉…学校運営にかかわる事務、教材・教具の購入、就学奨励費関係、他

<u>経営企画室長</u>	後藤 宜則
<u>主 任</u>	森 正典
<u>主 事</u>	十二 雄一郎
	榎本 友哉
	猪ノ子石 由美

それぞれの分野で
精一杯業務を推進
して参りますので、
どうぞよろしくお
願いします。



〈栄養士〉…おいしく安全な給食の提供

<u>主 事</u>	亀山 奏恵
<u>臨時的任用職員</u>	大野 有里

〈一般技能〉…校舎内外の清掃・美化、他

<u>環境整備担任技能長</u>	和田 橋 明
<u>技 能 主 任</u>	大野 信義
	渡邊 隆司

〈平成31年度 両部門合同作業学習 カフェ班 校内のオープンについて〉

鹿本学園開校より、皆様の御協力をいただきながら、両部門合同作業学習カフェ班で「Café Pocopoco」を運営しております。大勢の方に御利用いただき、充実した活動を続けて参りました。

作業学習では毎年作業学習のメンバーが一新されています。それに伴い、生徒たちは校内オープンに向け日々、学習と練習を積み重ねています。楽しみにいただいている皆様には大変に申し訳ございませんが、今年度も9～10月のオープンを予定しております。

皆様が笑顔になれる場所を目指して、カフェ班一同頑張っまいりますので、楽しみにお待ちください。

作業学習（カフェ班）担当：加藤 陽子

Shikamoto Gakuen

CAFE POCOPOCO

